

令和6年度 秋田県立衛生看護学院 保健科一般入学試験問題

健康支援と社会保障制度

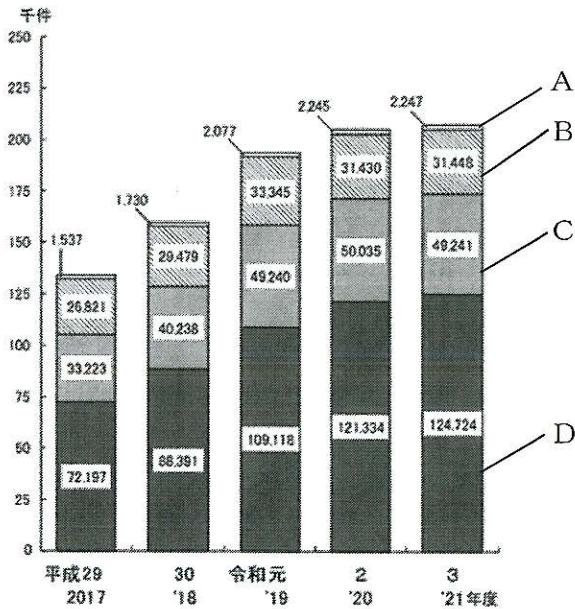
解答は解答用紙に記入すること。

問1 下表はわが国の男女別通院者率上位の3傷病(令和元年の国民生活基礎調査)である。①～⑤に該当する傷病名を下欄から選び、記号を書きなさい。(複数回使用可)

	第1位	第2位	第3位
男性	①	②	歯の病気
女性	③	④	⑤

a. 高血圧症 b. 糖尿病 c. 脂質異常症 d. 歯の病気 e. 眼の病気 f. 腰痛症

問2 下図はわが国の児童虐待の相談種別対応件数の年次推移である。「D」は児童虐待の防止等に関する法律に定める、児童虐待の4つの区分の何にあたるか書きなさい。



資料：厚生労働省令和3年度「福祉行政報告例」

問3 下記はオタワ憲章で示された5つのヘルスプロモーション戦略である。( )内に適切な語句を書きなさい。

- 1 健康的な( )づくり
- 2 健康を支援する( )づくり
- 3 ( )活動の強化
- 4 ( )の技術の開発
- 5 ヘルスサービスの( )

問4 下記の施設と規定している法律の組み合わせで正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。

- |   |              |    |                 |
|---|--------------|----|-----------------|
| 1 | 母子健康包括支援センター | —— | 母体保護法           |
| 2 | 乳児院          | —— | 母子保健法           |
| 3 | 児童養護施設       | —— | 児童虐待の防止等に関する法律  |
| 4 | 介護医療院        | —— | 高齢者の医療の確保に関する法律 |
| 5 | 助産施設         | —— | 児童福祉法           |

問5 国民健康づくり対策について、該当するものを下欄から2つずつ選び、記号を書きなさい。

- 1 第1次国民健康づくり
- 2 第2次国民健康づくり
- 3 第3次国民健康づくり
- 4 第4次国民健康づくり

ア. 健康日本 21	イ. 二次予防重視	ウ. 健康格差縮小	エ. 健康寿命延伸
オ. 一次予防重視	カ. 健康日本 21 (第二次)	キ. アクティブ 80 ヘルスプラン	
ク. 健康増進センターの設置			

問6 次のうち正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。

- 1 トータル・ヘルスプロモーション・プラン<THP>では健康測定が行われる。
- 2 常時使用する労働者数が 50 人未満の事業所では産業医の選任義務はない。
- 3 常時使用する労働者数が 100 人未満の事業所では産業保健師 1 名の選任義務がある。
- 4 「労働者の心の健康の保持増進のための指針」は過重労働対策として策定されたものである。
- 5 労働安全衛生法では介護休業の取得について定められている。

問7 次の文の ( ) 内にあてはまる語句を書きなさい。

集団の健康状態は健康指標を観察して捉えることができる。疾患の発生状況を捉える指標として ( 1 ) や ( 2 ) がある。疾患などでどのくらいの人が医療を受けたか把握する指標に ( 3 ) がある。健康状態や医療水準を把握する指標には平均余命・( 4 )・健康寿命などがある。人口はこれら指標の基礎資料となり、出生と死亡の ( 5 ) 増減と転入・転出の社会増減により算出される。

問8 下表はA町の令和3年の衛生統計である。

単位：人

人口	60,000
妊娠届出数	470
出生数	450
死産数	10
生後1週未満の死亡数	0
生後4週未満の死亡数	1
生後1年未満の死亡数	2
妊産婦死亡数	1

- 1 死産率を求めなさい。(小数点以下第2位を四捨五入)
- 2 妊産婦死亡率を求めなさい。(小数点以下第2位を四捨五入)
- 3 乳児死亡率を求めなさい。(小数点以下第2位を四捨五入)

問9 B市内にある入所定員70名の介護老人保健施設。11月10日に入所者と職員13名が嘔吐・下痢などの症状を発症。発症した入所者は全員、施設内の厨房で調理された給食を食べていた。報告を受けB市を管轄するC保健所は発生状況を調査した。

<C保健所による調査結果(発生状況)※嘔吐・下痢などの症状があった者>

( )は	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10
入所者・職員数					
入所者(70人)		1人	5人		10人
介護職員(25人)	1人		2人	1人	3人
給食調理者(5人)					

- 1 11月10日時点の有病者の割合を求めなさい。(小数点以下第2位を四捨五入)
- 2 その後の調査の結果、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生と断定した。  
ノロウイルスについて正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。
  - ① 主な感染経路は飛沫核感染である。
  - ② ノロウイルスを含む嘔吐物の処理には、アルコールが有効である。
  - ③ ノロウイルスによる感染性胃腸炎を予防するワクチンはない。
- 3 その後12名が発生し、うち1名が死亡した。この感染性胃腸炎の致命率を求めなさい。  
(小数点以下第2位を四捨五入)

